

2021 年度 春季 語学研修（オンライン）募集要項

グローバル戦略推進センター
グローバル教育部門長 プラート カロラス

下記のとおり、春季休業期間を利用して、オンラインによる英語研修の受講を希望する学生を募集します。本研修では、日本に居ながらオンラインでオーストラリアの大学が提供する英語の語学研修を受講することができ、海外の授業の雰囲気を経験するとともに、英語力を高めることで交換留学への足掛かりとすることが期待できます。研修後に TOEFL を受験した学生には、奨学金を支給します。また、TOEFL のスコアが基準以上の場合、単位認定も可能です。(2022 年 3 月に卒業する学生は、奨学金は支給しますが、スケジュールの都合上、単位の認定はできません)

1. 募集対象者: 学部1～4年次生

2. 募集人数: 10 名

3. 研修先および期間:

ウーロンゴン大学(オーストラリア)2022 年 2 月 21 日～3 月 18 日(4週間)

4. プログラム参加費用:

ウーロンゴン大学オンライン研修参加費用 1,400 オーストラリアドル
オンライン研修参加後の TOEFL iBT 受験料 245 アメリカドル

※参加が決まった方には、各自、クレジットカードで研修先に参加費を支払っていただきます。支払い方法は、参加者決定後にお知らせします。支払い時の為替変動などにより、日本円の自己負担額には個人差があります。

5. 申込方法: 次の書類を「8. 申込締切」に記載した日時までに提出してください。

1. 申込書(別紙様式 1)

e mail アドレス欄には海外からのメールを受け取ることができ、添付ファイルを開くことができるメールアドレスを記入すること。携帯電話会社のキャリアメールアドレスを記載しないこと

2. 志望理由書(様式任意。A4 用紙 1 ページの「片面」を用いること。手書きではなくパソコン等でタイプし、印刷すること。英語で記述すること。)

3. 語学能力を示す書類(コピー) TOEFL、TOEIC、英検その他言語の試験の成績証明書や合格証明書がある場合はコピーして添付すること。なにも無い場合は、添付する必要はありません。

4. 応募者データ登録票(エクセル)

5. 成績証明書の内容を国際交流室で確認します。(成績証明書を提出する必要はありません)

6. 奨学金：

オンライン研修を修了し、2022年5月31日(火)までにTOEFLを受験した場合、2022年6月に小樽商科大学から以下のとおり奨学金を支給します。奨学金は、授業料の引落口座に振り込みます。途中でオンライン研修の受講をとりやめたり、TOEFLを受験しない場合、奨学金は支給しませんのでご注意ください。

【奨学金の金額】 10万円

※本人の責によらない場合を除き、奨学金以外の支給はありません。

7. 提出先: 学生支援課国際交流室に電子メールで提出してください。

提出先メールアドレス inljimu@office.otaru-uc.ac.jp

※応募者データ登録票以外は、PDF にするか全体が見えるよう写真を撮ってください。

応募者データ登録票は、エクセルのまま提出してください

※提出書類を一つのフォルダに入れて、フォルダにパスワード abroad をかけたうえで圧縮してメールに添付してください。

※申込受付の翌営業日までに、留学願に記載したメールアドレス宛に、国際交流室から「(国際交流室)語学研修の申し込みを受け付けました」という件名のメールを送ります。受付のメールが届かない場合は、必ず国際交流室に問い合わせてください。

8. 申込締切: 2022年1月3日(月) 必着

9. 選考方法: 志望理由書(英語)、提出書類等により、総合的に判断します。応募者多数の場合、オンラインで面接を行う場合があります。

10. 説明会: 申込みに当たっては、国際交流室から内容についての説明を受けてください。募集説明会を以下のとおり実施しますので、必ずこちらに参加してください。2度とも同じ内容で説明するので、どちらかに参加してください。

(1回目)

日付: 2021年12月22日(水)

時間: 16:00~16:30

場所: オンライン(Zoom)により開催します

ミーティング ID: 891 9896 1996

パスコード: Np1ZxJ

(2回目)

日付: 2021年12月23日(木)

時間: 12:10~12:40

場所: オンライン(Zoom)により開催します

ミーティング ID: 883 5526 0949

パスコード: mi5L3n

11. 注意事項:

オンラインであるか対面であるかを問わず、過去に語学研修か事情科目でウーロンゴン大学の研修に参加し奨学金を受給した学生は、今回のプログラムに参加することはできませんが、奨学金は支給しません。

今回のプログラムに参加した場合でも、今後実施する、現地に渡航し対面で行う佐野海外留学奨励金による事情科目に応募できます。

主な例を下に列挙していますが、質問がある場合は国際交流室にお問い合わせください。

(例)

2021年2月22日~3月19日または2021年8月16日~9月12日に実施した、ウーロンゴンのオンライン語学研修に参加した学生は、今回のプログラムに参加することはできませんが、奨学金は支給しません。

佐野海外奨励金による事情科目で、過去にウーロンゴン大学のプログラムに参加した学生は、今回のプログラムに参加することはできませんが、奨学金は支給しません。

新型コロナウイルス感染症の影響で、渡航を伴う事情科目の再開時期が不明であるため、今回のプログラムで、オンラインでウーロンゴン大学のプログラムに参加した場合でも、佐野海外留学奨励金による事情科目でウーロンゴン大学の「アジア・オセアニア事情」に応募できます。奨学金も支給します。

※このプログラムでは、参加しただけでは単位を取得できません。語学研修後の単位認定については、履修の手引きの「語学研修における成績評価の基準」をご覧ください。

(2022年3月に卒業する学生は、奨学金は支給しますが、スケジュールの都合上、単位の認定はできません)

過去にオンラインでウーロンゴン大学の語学研修を受講した学生さんの感想

【メリット】

- ・家にいながら英語の勉強(スピーキング、リスニング)ができるのでとても良かった。
- ・英語を話す、聞くことに「慣れる」場としてふさわしい。英語を話せるようになるための最初の一步としては、とても良い機会である。
- ・自宅で受けることができるため、費用があまりかからない。
将来、現地で語学研修に参加したい人や、留学したいと考えている人にとって、オンライン語学研修はとても良い準備期間になる。
- ・少人数のクラス分けだったため、英語を話す機会が多かったこと。また、様々なテーマ(オーストラリアの食文化、動物、先住民族など)を取り上げてくださったため、興味を持って楽しく学ぶことができた。

【デメリット】

- ・渡航を伴わないため、現地の学生と交流する機会が少ない。また、参加者や現地学生との連絡交換等を行い、友人を作ることが難しい。
- ・やはり現地に行っておらずオンライン上なので、先生やクラスメイトとの関わりを薄く感じてしまった。休憩があったものの4時間もずっとzoomでの授業だったので疲労感があった。
- ・日本人学生のみを対象となっているため日本語に逃げることができるため、日本だけでなく他の国の学生も参加できたらより良かった。
- ・オンラインだと観光名所に見ても実際に行くよりもかなり劣るため勉強がメインになってしまう。楽しむということについてオンラインでは限界を感じた。

お問合せ窓口：

学生支援課国際交流室 留学生係

TEL：0134-27-5262

E-Mail：inljimu@office.otaru-uc.ac.jp